

# 輝く 田底っ子

第50号

文責：校長 益永 一幸

## 田底小 スローガン

- ① 自分と周りの人を大切にしよう      ② 自ら進んで学び、互いに高め合おう

### あいさつができる子に育てほしい（学校評価から保護者・教師の願い）

今年度の学校評価では、保護者・教師で共通して「あまり、あいさつができていない。」という評価が多く、それに比べて、子どもたち本人は「あいさつはできている」と思っている数が多いようです。私から見ると、気持ちの良い挨拶ができて合格レベルの子は3割程度だと思っています。できている子は「立ち止まって、頭を下げて」「笑顔で」「相手に気持ちよく響く声で」あいさつしています。しかし、「ごにょごにょあいさつ」「笑顔のないあいさつ」が多いですね。たまには、こちらから挨拶しても、素通りしている子もいます。あいさつは、互いのコミュニケーションのきっかけとなる重要な行動だと思います。育てたい力です。

では、どうすれば「あいさつが上手にできる子」に育つのでしょうか？効果的な方法があればいいのですが……。できることからしていきましょう。

#### ① 身近な大人があいさつする姿を見せる

子どもはマネをします。家庭では、家族間で元気なあいさつを響かせたいものです。大人も子どもも互いに「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」などが、素直に言えるといいですね。

#### ② あいさつは一朝一夕には身につかない

できないからといって、互いにストレスになったらいけません。長い目で育て、できたら一緒に喜び合うことも大事です。学校では、授業開始時に「お願いします」、終了時に「ありがとうございました。」を習慣化しています。また、生活委員会を中心に「あいさつ運動」「あいさつ週間」を子どもたちが主体的に行う取り組みをしています。

#### 保健委員会による手指消毒チェック



今週から、保健委員会が交代で朝一番に来て、寒い中児童玄関前で手指消毒の声掛けとチェックをしています。ありがたいです。

#### 地震・火災避難訓練をしました



1月19日（水）の業間に、地震発生、その後給食室から火災発生という想定で避難訓練をしました。自分の命を守る行動を真剣に行うことができました。